

# 謹賀新年



## 申年は真つ直ぐ天に向かって伸びる年 未来を予測して歩み出す年。

### 消費税引き上げを一年後に控え 最善の選択が必要な年です。

新年のお慶びを申し上げます。  
申年は、日米ともに大統領選や参議院選などが行われる年で、「荒れる年」という側面があります。また、消費税引き上げの前年で、資材などの価格も安定しない側面があります。

松下孝建設は、来年の消費税の引き上げや将来的な展望から、様々な技術改革を遂げて参りましたが、住宅技術の本質は、住宅躯体構造の性能アップが、最も将来に必要な技術であると確信しております。住宅の設備は、様々な新技術を開発しましたが、それを確実に受け止めるためには、住宅性能が最も重要だと考えられるからです。

住宅を取り巻く技術革新は、いま、大きく進化するとしております。その一つは、電力の自由化で、本年からは、電気もプロパンガス等と同じように、自由に買い取り先を選べる時代になります。そうした環境面の進化と「スマートV2H」の登場で、電力の3系統(系統電力+太陽光発電+PHV・EV自動車)が、連結される時代が始まり、さらにその先には、水素時代が控えています。松下孝建設は、常に住宅建築の基本は、時代に即応した性能の向上ととられてきましたが、本年もまた、進化した松下孝建設をお見せするために努力して参ります。本年もご愛顧の程、お願い申し上げます。

株式会社 松下孝建設  
代表取締役 松下孝行

# ひこうき雲

## 太陽光発電と自動車、住宅を繋ぐ、新エネルギーシステム新時代の到来!

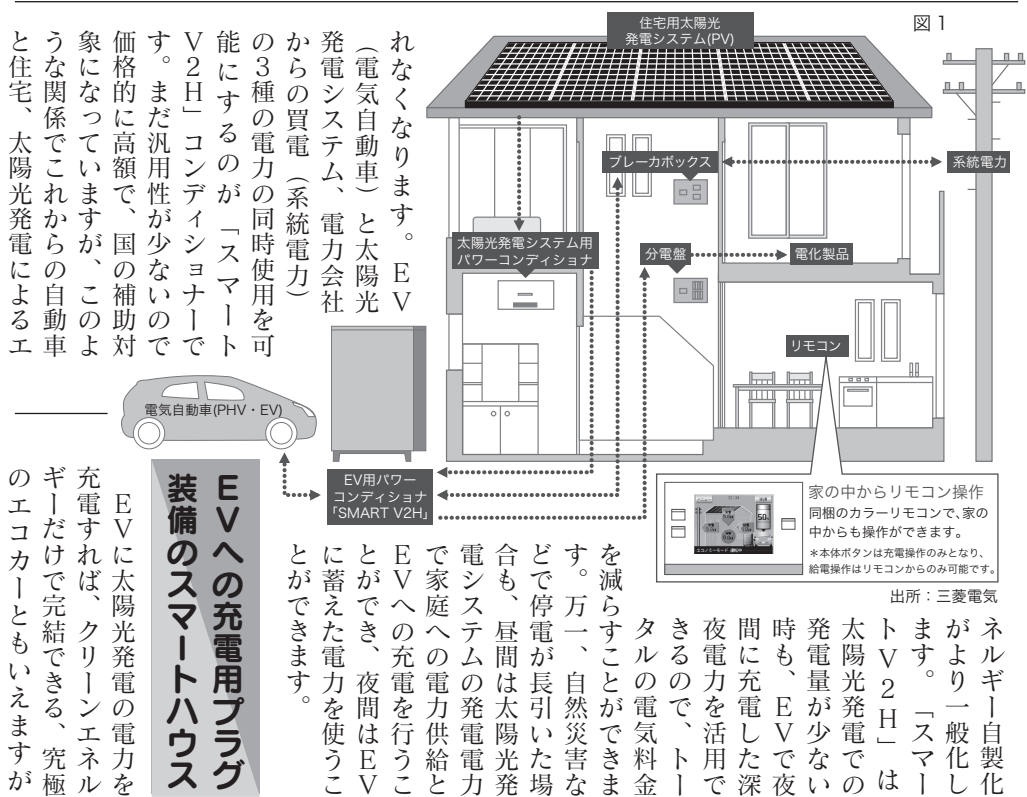
### 電力連結インバターが地球温暖化、大気汚染、その全てを解決する。

# スマートV2Hエネルギー革命!

## クルマから住宅へ給電 燃料・電力自給の時代

日本発のイノベーション(経済改革の一因となる技術革新)として、EV(電気自動車)・PHEV(プラグインハイブリッド)・更に水素を燃料とするFV(燃料自動車)が実用化され、家庭燃料と自動車燃料の共有が始まっています。現在は、太陽光発電もPHEV・EV関連自動車もFVも高額で補助金頼りになっていますが、将来、太陽光発電が設置できる屋根環境や配線、特に重要なものは、言うまでもなく住宅の性能を高機能にしておくことが必要になってきます。新築と同時に設置しなくても、少なくとも10年後の未来を創造的に考えておくことが必要です。

例えば、三菱自動車「iM iEV」と太陽光発電+「スマートV2H(右下図)」を紹介いたします。この図のように、これからは、住宅と自動車との共存関係は、切り放して考えら



れなくなりません。EV(電気自動車)と太陽光発電システム、電力会社からの買電(系統電力)を同時に使うのが「スマートV2H」コンディショナーです。まだ汎用性が少ないので価格が高額で、国の補助対象になっていませんが、このように関係して、自動車の充電は、太陽光発電によるエネルギー自製化がより一般化します。「スマートV2H」は、太陽光発電での発電量が少ない時、EVで夜間に充電した電力を活用できることで、トータルで電気料金を減らすことができます。万一、自然災害などで停電が長引いた場合も、昼間は太陽光発電システムの発電電力で家庭への電力供給とEVへの充電を行うことができ、夜間はEVに蓄えた電力を使うことができます。

EVの可能性は「移動手段」だけではありません。EVのリチウムイオン電池に貯めた電力をクルマから家庭へ供給することもできます。このように「EVから家へ」給電するのには必要な装置が、「スマートV2H」プラグインコンディショナーです。住宅と車の間で電力のやりとりが可能になることで、EVは自動車という移動手段から、家庭の電源を守る蓄電池にもなるのです。さらに、この装置には、充電や給電のタイマー設定、給電量のバッテリー残量設定など、さまざまな機能がついています。